

# 月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

## 12月の活動予定

12月1日(火) 第一例会

## 1月の活動予定

1月5日(火) 第一例会

## 10・11月の活動報告

11月1日(日) 苗場山(祓川コース)

参加者:

天気:晴れ時々曇り

今日は祓川コースから。小赤沢から登ったことは何度かあるが、このコースは初めてなので楽しみにしていた。県境の峠を越え新潟県に入ると山はだいぶ白くなっている。「先週よりずいぶん白くなっているね」とは、先週稲包山に登った人たち。この一週間で降った日があったようだ。登山口までの林道の紅葉が素晴らしく、これだけでも満足してしまう。登山口の駐車場には車が20台ほど停まっていた。やはり人気の山だ。

スキー場の上部がやや白くなっている。スキー場から登山道に入ると日陰になっていることもあり、凍っていたり岩に雪が着いたり歩きづらい。斜度はそれほどではないが滑らかなような所を選びながら足をを進める。疲れる。



カッサ湖



苗場山が見えてきた

休憩に良さそうな下ノ芝はベンチに雪があり、もう少し上のリフト終点まで行くことにする。リフト終点はすぐ近くに見えていたのに、これが高なか着かず30分ほどかかった。ここからの眺めも良い。カッサダムの湖面は青く、平標山も所々白くなっている。越後三山方面もよく見える。

神楽ヶ峰に向かう途中で、「神楽ヶ峰を下ったところで引き返した」という人にすれ違う。少し行くとやはり、「ツルツルなので雷清水で引き返した」という人も。ちょっと心配になってきた。神楽ヶ峰を少



最後の登り

し下ると苗場山が大きな姿を見せる。あそこを登る？登れる？足下も心配になってきたので軽アイゼンつける。ここで引き返して清津峡で温泉に入ろう。いやいや行けるところまで行こう。山頂まで行こうよ。と、いろいろな声があったが進むことにして、心配していたトラバースの所まで来ると小野さんがその先を偵察に行ってくれた。

小野さんの「大丈夫、OK」

の声で山頂を目指す。雪は思っていたより柔らかく踏み固められているが、ただ急登だ。木道に出たときはほっとした。そこには白い世界がただ静かに広がっていた。風もなく穏やかな最高の日だ。

下りも足下に十分気をつけながら下る。溶けた雪でグッチャになった所も多く、岩の上は滑り止めを着けているとかえって歩きにくかったりで変に力が入ってしまう。予定どおりの時間に駐車場に到着。帰りの林道の紅葉は朝以上に素晴らしく、ただただ「きれいだねえ」と黄や橙に染まった木々や山肌を堪能した。()



山頂で

小布施ハイウェイオアシス 4:30 - 祓川登山口 P  
6:50/7:10 - 和田小屋 7:35 -  
下ノ芝 8:50 - 最終リフト 9:20/9:35 - 神楽ヶ峰  
10:20 - 苗場山 12:00/12:30 -  
神楽ヶ峰 13:45 - 中ノ芝 14:20 - 和田小屋 15:50 -  
登山口 P 16:2



11月15日(日) 烏帽子岳・小八郎岳

参加者:  
天気 : 快晴

夜明け前の高速はあまりに車が少なく驚くほど。岡谷 JC 手前で東の空が赤く染まった中に絵画のような富士山がクッキリ大きく見え感激でした。松川 IC からしばらく行きすれ違いのできないような山道を進むと鳩打峠 P.着。

カラマツの葉はだいぶ落ち、広葉樹の落ち葉をカサカサ踏みながら歩き始めるとかわいい立札が!! 赤ちゃん小一郎が微笑んでいました。小二郎、小三郎…と学生から青年となって老いていく姿が書かれた札が小八郎岳まで続いて、子どもたちも楽しく歩けるような山道です。



山好き四姉妹 (小八郎岳山頂)

山頂には鎌倉時代の武将、片桐小八郎の碑があり、その先にはいい形をした烏帽子岳が切り立っていました。しばらくは歩きやすい登山道を木々の間からまわりの山々を見たり、冬が近いことを感じたり。飯島町からのルートと合流する七合目あたりからはなかなかの急登。張りでた根っこに手をかけたり足をかけたり。下山時に「よくここを登ったね!!」と言ってしまふほど。まわりは針葉樹となって大木をあちこちに。途中のセキナギは白い岩肌が大きく崩れ落ちて



烏帽子岩を登る

いて、覗き込むように見ようとする足元は木の根が支えているような足場の箇所もあり崩落が進んでいる様子がうかがえました。

岩場の前で登山道が左右に分かれる案内板。右側は上級者コースとも書かれ、エボシ岩を登るようになっているようなので二手に分かれて登りました。岩の上から見る南アルプスの山々は爽快でした。いったん岩を下りるとすぐに

烏帽子岳ピーク。稜線をたどった所にある念丈岳、そして中央アルプスが目の前に。越百山、仙涯嶺、南駒ヶ岳、空木岳。向きを変えると八ヶ岳、南アルプスの山々も小八郎岳から見たよりも大きく青空のなかにドーンと構えていて、そのままずっと眺めていたい気分でした。

烏帽子岳、小八郎岳、いい山でした。今度はササユリが咲いているときに登ってみたい。一日中暖かな日差しなのか晩秋の山を満喫してきました。( )



烏帽子岳山頂

長野 5:00＝鳩打峠 P7:00－小八郎岳 8:08－  
展望地 9:15－七合目分岐 9:45－  
烏帽子岳 11:23～12:00－七合目分岐 12:50  
－鳩打峠 P14:25＝長野